

## 単元名 音のスケッチ(2)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 様々な音階の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに設定した条件に基づいて即興的に音を選択して表現したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律や旋律の基となる音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりすることができる。
- (3) 日本に伝わる音楽の音階を基にした旋律づくりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

04070206\_001

【教材名】音階をもとにして音楽をつくろう（音楽づくり）（P. 48～P. 49）

【準備等】リコーダー、鍵盤ハーモニカ、木琴、鉄琴、オルガンなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 音階から音楽をつくって演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○それぞれの曲を歌い、音楽の雰囲気や特徴について話し合う。</li> <li>★音階をもとにして音楽をつくろう</li> <li>○それぞれの曲で使われている音階について知り、音階の響きを聴き比べる。</li> </ul> <p>○一人一つ音階を選び、2小節の旋律を作る。</p> <p>○基にした音階ごとに集まり、拍にのってリレーする。</p> <p>○基にした音階が同じ友達同士5人程度のグループをつくり、旋律をまとめていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伴奏担当を決める。</li> <li>・リズムや強弱、速さ、始め方や終わり方などを工夫する。</li> </ul> <p>○発表して感想を出し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの曲の音階を参考に、既習曲と照らし合わせながら確認する。</li> <li>【共通事項】音階「せんりつ」</li> <li>【評】さまざまな音階の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて捉える活動を通して「知識」を評価する。</li> <li>・音階を選ぶとき、基の曲の情景やイメージに引っ張られないようにする。情景を表す音楽づくりではない。</li> <li>・音階の音であれば、どの音から始めてもよいこと、隣の音に進むとつくりやすいことを知らせる。</li> <li>・常時活動として8拍のリズム模倣を即興的にするなど、拍の流れにのって演奏する音楽遊びに慣れていると、それが音楽づくりに生かされる。3年生「シラソでリレー」「ラドレでリレー」、4年生「音の動き方を生かしてせんりつをつくろう」の学習と系統性をもたせるとよい。</li> <li>・リコーダーや鍵盤ハーモニカでつくった旋律を確かめ、一人ずつつくった旋律をリレーのようにつなぐようにさせる。</li> <li>・教師が伴奏を重ねるとよい。</li> <li>【評】設定した条件に基づいて即興的に音を選択して表現したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくったりする活動を通して「技能」を評価する。</li> <li>・終わるときは、青い網がけの音で終わる約束を伝える。</li> <li>・始め方（一斉に・一人ずつ・伴奏から）や終わり方（一斉に・一人ずつ・伴奏が残る・コーダを付ける）についてアイデアを出し合えるようにする。</li> <li>【評】日本に伝わる音楽の音階を基にした旋律づくりを通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>【評】旋律や旋律の基となる音階を聴き取り、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して「思考・判断・表現」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】